

知りあって 触れあって 充実した公民館活動 一年間を振り返って



発行所 飯田市竜丘公民館
編集人 竜丘公民館広報委員会
印刷所 龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,807人
男子 3,345人
女子 3,462人
世帯数 2,233戸
(20年3月末現在)

地域づくり委員会 での公民館の役割

館長 木下 陸 奥

地域づくり組織が発足して、一年が過ぎました。公民館は、『従来からの立場を大事にしながら地域に役立つ公民館として地域自治の発展に尽くしていこう』という決意をもって、この組織に仲間に入れてもらいました。

進めてまいりました。二十年度も、公民館の果たすべき役割を、地域づくり委員会の竜丘未来構想の方針に沿って果たしていきます。

例えば、竜丘の文化財である古墳を、将来の竜丘の地域発展として、飯田市の看板として古墳公園にするために、住民の関心と期待を高めるための方法として、古墳に関わる事業を企画実践してお役に立ちたいと思いま



環境産業公園の見学

『文化祭は地域づくりに役割を果たす企画運営ができたかどうか』と。体育委員会は『市民運動会は、地域の皆さんの健康増進と人々の絆を深める働きをしているだろうか』と。言うならば、地域の皆さんに期待される公民館として機能しているだろうかと問いながら

文化委員長 田中 治

地域づくりの為に、公民館の役割はたくさんあります。二十年度も一層頑張りたいと思います。

各委員・スタッフ・住民の方々の御協力をいただきまして、計画した文化事業が実行出来

ました事を、この紙面を通じて御礼致します。事業内容として、親子ふれあいハイキングでは体育委員と合同事業で、桐林クリーンセンターと環境産業公園を見学し、屋敷・臼井



川秘境・馬背塚・二子塚古墳と巡り、環境・自然・文化・歴史・健康と欲張りな企画実施としました。

川秘境・馬背塚・二子塚古墳と巡り、環境・自然・文化・歴史・健康と欲張りな企画実施としました。竜丘文化祭には四十二団体の参加をいただき展示催しを行い、分館のコーナーに於いても特色ある展示研究で注目を集め、又、特別企画では民俗資料保存委員会の協力で「開善寺で生活した疎開児童たち」と題した展示と当時の方々においていただき、座談会を開き当時の様子を生の声で伺う事ができました。

年間行事の予算も減少し、組織が変わって課題がでてくる中、他の委員会とも連携協力しながら公民館の行事が活発に実施され各事業を通じて地域の人たちが心豊かに、交流学びの場となり、積極的に参加を願うし、あとは新委員長に託し任を降ろさせていただきます。ありがとうございます。

民俗資料保存委員長 今村悦夫
民俗資料保存委員会では、昨年度から原稿の収集編集

親子でできる美しい河川に 天竜川環境美化活動

三月九日、飯田市天竜川環境整備公社などが主催して天竜川環境美化活動が、時又港下流の堤外地で行われ、地域づくり委員会や公民館などの皆さん百余人が参加して汗を流しました。この環境美化活動は、天竜川を親しむことのできる美しい河川にするために昨年引き続き行われ、参加した皆さんは河川内に繁



にぎわった水辺の楽校

「あいさつ運動」では、今年度も事前に募集した標語から選ばれた最優秀作品をのぼり旗に掲げ、分館ご

社会委員長 伊原広隆
社会委員会の事業は、地域の多くの皆さんの参加、協力のおかげで、委員会発足の初年度としては濃い内容で成果をあげることができました。

机上の空論だけではなく、実践があつてこそ、初めて良い所・改善しなければならぬ所が現れます。この事を総括して、次に生かしていく事が、明日の竜丘の肥やしとなり、礎となつて行くものです。

この堤外地も地域の皆さんので徐々に環境が整っていき、今後の活用方法が期待されます。

「ローマは一日にして成らず」と言う格言があります。これは、大國ローマも一日では出来ない、つまり、物事は、一日では為し遂げられない。日々の積み重ねがあつてこそ、物事は為し遂げられるとの意味があります。まさに今、竜丘の自治組織は、日々の積み重ねを行っている段階であると思ひます。



ヤフウ敷
朝夕の冷え込みも緩み、花のつぼみも開花が近くなってきました。思い起こせば、昨今の頃は自治組織がスタートを迎える時期で、不安が多かつた様に思ひます。

地域の宝に思いを馳せる

古代人大集合

第1回 古墳まつり 盛大に開催



6年生の研究発表

雪の残る塚原の古墳に、古代人の衣裳に身を包んだ子どもたちからお年寄りまで約三百人が参加し、勾玉づくりや古墳見学、古代米のもちつき、火おこしなどの体験をしました。

竜丘公民館、古墳公園・白井川秘境遊歩道整備委員会、竜丘古墳を考える会共催の第一回竜丘古墳まつりが、建国記念日の二月十一日に桐林の塚原二子塚古墳を中心に開催されました。

竜丘地区には市内でも有数の古墳群があり、百四十の誇れる文化遺産をより多くの人に知ってもらい保存と活用

に繋げていくため、竜丘公民館社会委員が中心となり企画しました。

会場周辺の塚原二子塚や馬背塚、鏡塚、鎧塚などの古墳には

のぼり旗や風船などで分かれ、会場となった桐林市民農園駐車場には、竜丘の古墳に関するパネルや出土品の展示など紹介コーナーが設けられました。

鈴岡太鼓の演奏で幕を開けた開会式では、木下公民館長が「塚原古墳群は非常に珍しい古墳群であり、地域の皆で一緒に守っていきたい」とあいさつがありました。

続いて、古代人の衣裳の牧野市長が「竜丘では塚原古墳群の公園化に向けて活動をしている。このまつりで地域の宝をしっかりと保存していこうと心を一つにして欲しい」と祝辞がありました。

その後、竜丘小学校の六年生九人が総合的学習で学んだ古墳について研究発表がありました。

古墳見学では、塚原二子

魔よけ、幸運を招く石、護符として大切にされてきました。ロウセキをヤスリで削りラッカーでツヤをだし、ひもを付けて完成です。個性豊かな勾玉ができました。

古代米のもちつきでは、コキビが入った餅米を蒸かし古代食の餅つきをし、アツアツの豚汁と一緒に振る舞われました。

先人達が何を着て、何を食べ、どのような生活をしたか、古代人になった気分

で楽しく遊びながら体験ができ、地域の歴史に触れる機会となりました。

地域づくり委員会では、塚原古墳群を中心とした古墳公園の整備を検討し、市に提案しています。地域の宝を、どのように守り活用するのか、より多くの方の関わりが求められています。そのきっかけとなる古墳まつりとなりました。

塚の発掘現場を見ながら、市教育委員会員の職員から、古墳が作られた目的や調査結果の説明を受けました。



勾玉づくりの様子

学びを土台に、新時代の役割を

飯田市公民館大会

第四十五回飯田市公民館大会が、二月二十四日に飯田市公民館で開かれ、約四百人の参加者が、今までの成果を踏まえながら今後を展望しました。

木下陸奥大会長(竜丘公民館長)の「公民館は地域のためにできること、すべきこと、ほかの委員会との連携について検討・実践した一年だった。今後も公民館的発想を發揮していきたい」とあいさつされ、大会が始まりました。

全体会のパネルディスカッションでは、公民館活動に

深くかかわった、前竜丘自治会長の下平隆司さん、橋南地区児童民生委員の菅沼輝美さん、信濃毎日新聞の小市昭夫報道部次長の三名が、ひさかた風土舎の長谷部三弘さんをコーディネーターに、公民館の現状と課題、過去の成果を検証し、目指すべき道が討論されました。

地域自治組織元年について、「従前からの行政の補完的役割から出ていない」「公民館もまちづくり委員会も横断的な取り組みが必要だが、まだそこに達して

いない」との指摘がありました。地域外から、見ると「これほど真剣に取り組んでいる都市はなく、高いレベルで実践している印象。自信を持って、学びの拠点であることを大事にしてほしい」との意見も出されました。

後半の分科会では、竜丘からは「丘のみちしるべ」と小学校での取り組みについて駄料の塩沢義男さんが、「竜丘大人の学校の活動」について長野原の小林泉さんが、講師となり、事例を発表されました。

表情で聴き入り、盛んにメモを取っていました。改めて原点に立ち戻り、公民館の重要性や必要性を話し合い、地域の人たちが作り上げていかなければならないと感じる大会となりました。

竜丘地域づくり委員会の総会が、去る三月二十六日竜丘公民館大ホールで行なわれ、昨年度の事業報告と決算の承認、本年度の事業計画、予算が承認されました。

総会での報告事項で、本年度より、竜丘地区の将来像を示す、竜丘地区未来構想会議が、三月十一日より設置された報告がありました。

未来構想会議は、自治会や地域づくり委員会、各種団体が中心となり、連携して竜丘地区の将来を展望検討する組織として設置されました。

竜丘地区構想として決定さ



決定された構想は、実現に向けて、地域づくり委員会、自治会、各種団体が関係係を求め、関係協力を求め、構想の内容に沿って事業をすすめていくようになっています。

今後の課題の例として、川路バイパス周辺の環境整備や古墳公園の整備、小学校周辺の環境雨水排水対策などが掲げられて

竜丘の将来を展望し実現に向けて

未来構想会議設置される

竜丘では、今後三速南信自動車道の整備や川路バイパス(桐林大明神原線・二八メートル道路)の開通、人口の増加などが予想される生活環境やコミュニティの維持向上などに対応していくことが大きな課題となっています。

今後は、地域づくり委員会や自治会、各種団体が関係係を求め、関係協力を求め、構想の内容に沿って事業をすすめていくようになっています。

今後の課題の例として、川路バイパス周辺の環境整備や古墳公園の整備、小学校周辺の環境雨水排水対策などが掲げられて

決定された構想は、実現に向けて、地域づくり委員会、自治会、各種団体が関係係を求め、関係協力を求め、構想の内容に沿って事業をすすめていくようになっています。



決定された構想は、実現に向けて、地域づくり委員会、自治会、各種団体が関係係を求め、関係協力を求め、構想の内容に沿って事業をすすめていくようになっています。

今後の課題の例として、川路バイパス周辺の環境整備や古墳公園の整備、小学校周辺の環境雨水排水対策などが掲げられて

平成19年度 竜丘地域づくり委員会決算

科 目	H19年度予算	H19年度決算額	比較	説明
10 歳入				
01 会費収入	0	0	0	
02 補助金および交付金	13,849,000	14,204,624	355,624	パワーアップ交付金、自治会補助金ほか
03 繰越金	3,481,109	3,481,182	73	前年度繰越金
04 繰入金	0	0	0	
05 寄付金	215,000	309,500	94,500	福祉協力費ほか
06 預金利息	1,891	7,469	5,578	預金利息
07 雑収入	174,000	741,550	567,550	謝礼、手数料、使用料ほか
歳入合計	17,721,000	18,744,325	1,023,325	
20 歳出				
01 報酬	2,170,000	2,162,500	7,500	委員報酬
02 賃金	0	0	0	
03 手当	99,000	99,000	0	文書配達手当
04 報償費	20,000	5,000	15,000	謝礼ほか
05 旅費	0	0	0	
06 交際費	130,000	46,000	84,000	慶弔費ほか
07 会議費	420,000	387,161	32,839	諸会議費用
08 消耗品費	459,000	515,870	-56,870	事務用消耗品ほか
09 燃料費	0	0	0	
10 印刷製本費	430,000	258,300	171,700	コピー料ほか
11 光熱水費	0	0	0	
12 修繕料	30,000	16,485	13,515	施設、備品等の修繕
13 通信運搬費	53,000	13,280	39,720	委員への会議通知ほか
14 手数料	6,000	32,184	-26,184	振込手数料ほか
15 保険料	0	0	0	
16 賃借料及び使用料	521,000	259,792	261,208	事務機器等借上料、タクシー代ほか
17 維持管理費	50,000	79,401	-29,401	修繕料ほか
18 備品購入費	60,000	1,008,570	-948,570	ほか
19 雑費	50,000	508,142	-458,142	雑費
01 総務				
02 事業				
03 費				
01 総務企画委員会費	1,090,000	1,046,836	43,164	
01 総務企画委員会費	1,090,000	1,046,836	43,164	
10 事業運営費	100,000	33,121	66,879	諸事業運営費
40 負担金補助及び交付金	990,000	1,013,715	-23,715	補助金等
02 安全委員会費	1,540,000	1,215,849	324,151	
01 交通安全全部会費	450,000	293,143	156,857	
10 事業運営費	180,000	23,143	156,857	諸事業運営費
40 負担金補助及び交付金	270,000	270,000	0	活動費(区委員会へ)
02 生活安全全部会費	1,090,000	922,706	167,294	
10 事業運営費	640,000	472,706	167,294	諸事業運営費
40 負担金補助及び交付金	450,000	450,000	0	活動費(区委員会へ)日赤活動費
03 福祉健康委員会費	2,667,000	2,758,602	-91,602	
01 地域福祉部会費	2,497,000	2,586,558	-89,558	
10 事業運営費	2,242,000	2,331,558	-89,558	諸事業運営費
40 負担金補助及び交付金	255,000	255,000	0	市社協1号会費
02 健康推進部会費	170,000	172,044	-2,044	
10 事業運営費	170,000	172,044	-2,044	諸事業運営費
40 負担金補助及び交付金	0	0	0	
04 環境委員会費	1,376,000	1,549,350	-173,350	
01 環境委員会費	1,376,000	1,549,350	-173,350	
10 事業運営費	608,000	849,350	-241,350	諸事業運営費
40 負担金補助及び交付金	768,000	700,000	68,000	交付金ほか(区委員会へ)
05 公民館費	3,172,000	3,622,769	-450,769	
01 公民館費	3,172,000	3,622,769	-450,769	
10 事業運営費	1,592,000	1,949,873	-357,873	諸事業運営費
40 負担金補助及び交付金	1,580,000	1,672,896	-92,896	分館補助金、助成金、その他
03 予備費	3,378,000	0	3,378,000	
04 積立金	0	51,500	-51,500	
歳出合計	17,721,000	15,636,591	2,084,409	
次年度繰越金			3,107,734	

広報委員募集のお願い

私たち広報委員会では、委員を大募集しています。地区での事業などを取材する事で、地区のことがわかってきます。先着順になりますので、ご希望の方は、竜丘公民館主事まで連絡を下さい。